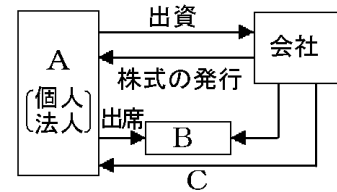


第 13 章	社会(公民)	名前:	日 付	No.02
	企業・労働			

[問題 1]

右の図を見て、次の各問いに答えよ。

- (1) 図中の A～C に適する語句を書け。
 (2) 図のようなしくみで運営されている会社を何というか。



[解答欄]

(1)A 株主	B 株主総会	C 配当	(2) 株式会社
---------	--------	------	----------

[問題 2]

株式会社について、次の①～③の文中の下線部が正しければ○を、まちがっていれば正しい語句を書け。

- ① 株式会社は、株式を発行して資金を集めて設立された会社である。
 ② 株式を購入した人は、株主とよばれる。
 ③ 株式を購入した人は、取締役会に出席する権限をもっている。

[解答欄]

①○	②○	③株主総会
----	----	-------

[問題 3]

下の各文のうち、正しいものをすべて選び、記号で答えよ。

- ア 会社が倒産した場合は、自分の出資金だけの損失ですむ。
 イ 株主総会での議決権は 1 人 1 票である。
 ウ 期ごとにかかわらず配当を受け取ることができる。
 エ 持っている株を売ったり、買ったりできる。

[解答欄]

ア、エ

[解説]

アは正しい。個人企業の場合、例えば 3000 万円の負債を抱えて倒産した場合、その負債を支払う責任は当然残る。これに対し、株式会社が倒産した場合、出資者である株主は、出資した金額は失うが、それ以上の債務は負わなくてすむ(有限責任)。

イは誤り。1 人 1 票ではなく、1 株 1 票である。

ウは誤り。例えば、会社が赤字になったときは配当が出ないのがふつうである。

[問題 4]

株式会社について、正しく説明しているものを次のア～エより 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 株式会社は、株式を発行して資金を集めて設立された会社である。

イ 株式を購入した人を、仲買人という。

ウ 株式を購入した人は、取締役会に出席する権利を持っている。

エ 株式を購入した人は、企業の利潤を配当としてすべて得ることができる。

[解答欄]

ア

[解説]

イは誤り。株式を購入した人を株主という。

ウは誤り。株主は取締役会ではなく、株主総会に出席する権利をもつ。

エは誤り。株主は、利潤の一部を配当として受け取る。

[問題 5]

株式会社の株価は、企業の事業活動等により日々変化している。資料の新聞の見出しを見て、一般に株価が上がると考えられる企業を A～D から 2 つ選べ。

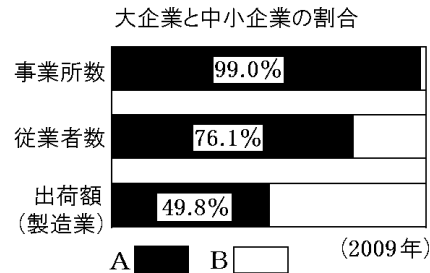
企 業 名	新聞記事の見出し
A	ヒット商品誕生か？開店前から客の大行列!!
B	欠陥商品が相次いで発覚!! 信用ガタ落ち!!
C	オリンピックでメダルラッシュ!! 選手の所属企業の人気が高まる!!
D	社長が収賄容疑で逮捕!! 企業のイメージ悪化!!

[解答欄]

A、C

[問題 6]

次のグラフで、中小企業にあたるのは A、B のどちらか。



[解答欄]

A

[解説]

[中小企業]
 出荷額で2分の1
 従業者数で4分の3
 二重構造, ベンチャー企業

資本金や従業者数などによって、企業は大企業と中小企業に分類される。日本では、中小企業の占める割合が高い。出荷額(製造業)では約 2 分の 1 であるが、従業者数では 4 分の 3、事業所数では約 99% を中小企業がしめる。

かつては大企業と中小企業との賃金格差(二重構造)が問題であったが、この格差は高度経済成長期の人手不足によってある程度解消された。しかし、経済のグローバル化が進展した現在、賃金や労働時間の格差がふたたび拡大している。中小企業でも自社の持つ高い技術を生かし、可能性を求めて事業をおこすベンチャー企業もある。

[問題 7]

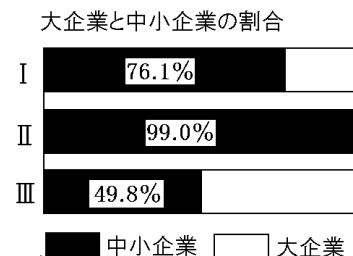
企業には、大企業と中小企業がある。

右の図は、中小企業の日本経済にしめる割合について、事業所数、従業者数、出荷額を示したものである。

I ～ III は、それぞれ事業所数、従業者数、出荷額のうちのどれか。

[解答欄]

I 従業者数	II 事業所数	III 出荷額
--------	---------	---------



[問題 8]

日本の産業の問題点について、次の各問いに答えよ。

- (1) 海外への工場の移転によって、国内の製造業の生産や雇用の減少が起こり、産業がおとろえることを産業の何化とよぶか。
- (2) なぜ、工場の海外移転が多くなっているのか。

[解答欄]

(1) 産業の空洞化	(2) 海外の安い労働力と広大な市場を求めるから。
------------	---------------------------